

2002年7月号

ほくし

発行所

社団法人大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046



平成十四年度 第一回通常総会

H14.5.28

生が指名された。続いて黒川会長が挨拶に立ち、まず大阪府歯科医師会名誉会長で北区歯科医師会顧問の奥野喜一先生がご逝去された事を報告され、お悔やみの言葉を述べられた後、出席



社団法人大阪北区歯科医師会は去る5月28日午後6時より新阪急ビル12階スカイルームにて平成14年度第一回通常総会を開催した。藤田議長より開会宣言がなされた後、大塚常務理事により点呼が行われ、会員数209名、定員数105名で、当日出席者数55名、書面表決73名、委任状提出17名合計145名で総会の成立が報告された。中谷副会長より開会の言葉があり、議事録署名人名には4班高麗誠紀先生、10班矢追秀純先生



者全員で黙祷を捧げた。続いて会員の先生方に日頃の会務へのご協力に感謝の意を述べられ、本日の総会においては平成13年度決算についての議案が提出されており、慎重審議の上御可決

をお願いしたいと挨拶を終えた。報告事項として、平成13年度会務報告は東郷専務理事より、同年度福祉共済制度報告は田中理事より行われた。次いで議事に移り、第1号、第2号議案が大浦理事より提案された。三浦・樋口両監事により監査報告がなされた後、両議案は会員に送付した資料通りに無事可決承認された。最後に大西副会長の閉会の言葉に続き、藤田議長による閉会宣言で無事通常総会を終えた。



例えはラッコの捕獲により、主な食物のウニが増えすぎ、その餌である昆布が打撃を受け、昆布から始まる食物連鎖に連なる魚介類が壊滅し、魚類は一〇分の一から一〇〇分の一まで減少したが、ラッコの保全運動が起こつてラッコが増加すると、二〜三年後には元に回復したそうである。森林を構成する樹木の場合は、水域の昆布や植物プランクトンなどと異なり成長した個体が動物の食害により死ぬことは少ないが、種子や実生は容易に食べられてしまう。日本の場合でも、シカによる食害が問題になっているが、森林生態系の場合ハツキリと影響があらわれるのは人間の数世代にも相当する時間がかかり、結果があらわれてしまった場合、その回復にも同様の時間がかかることは理解しておかなければならない。ヒトは理解し、研究考察し、解決策を考えられる、地球上唯一のキーストーン種である。(B)

パノラマ

一つの種の個体数の変動が生態系のシステム全体に影響を与えるような生物を生態学的にキーストーン種と呼ぶそうである。

一つの種の個体数の変動が生態系のシステム全体に影響を与えるような生物を生態学的にキーストーン種と呼ぶそうである。例えばラッコの捕獲により、主な食物のウニが増えすぎ、その餌である昆布が打撃を受け、昆布から始まる食物連鎖に連なる魚介類が壊滅し、魚類は一〇分の一から一〇〇分の一まで減少したが、ラッコの保全運動が起こつてラッコが増加すると、二〜三年後には元に回復したそうである。森林を構成する樹木の場合は、水域の昆布や植物プランクトンなどと異なり成長した個体が動物の食害により死ぬことは少ないが、種子や実生は容易に食べられてしまう。日本の場合でも、シカによる食害が問題になっているが、森林生態系の場合ハツキリと影響があらわれるのは人間の数世代にも相当する時間がかかり、結果があらわれてしまった場合、その回復にも同様の時間がかかることは理解しておかなければならない。ヒトは理解し、研究考察し、解決策を考えられる、地球上唯一のキーストーン種である。(B)

大阪北区歯科医師会顧問

(府歯名誉会長)

奥野 喜一先生 逝去

(平成十四年五月二十六日)



大正10年3月17日生

昭和16年大阪歯科医学専門学校第22回卒業

吹田市千里山西6-24-15(御自宅)

『奥野喜一先生を悼む』

会長 黒川 森夫

巨星墜つ。半世紀にわたり激動の社会情勢にあつて、ほとばしる情熱と使命感を胸に歯科界発展のために献身的な努力を重ねられ、私共に有形無形の数多くの財産を残され、一方、北区歯科医師会においては、顧問として二十有余年大所高所からご指導いただいた奥野喜一大阪府歯科医師会名誉会長が、五月二十六日逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

先生は常に「北区歯科医師会は大坂の表玄関である」と明言されました。日本歯

科医師会はもとより大阪府歯科医師会には、奥野先生はじめ三名の歴代会長を筆頭に多士多済の人材を輩出し、永年にわたりその時々

のリーダーとして歯科界発展のために大きく貢献してきた支部であることの重みを今ここに改めて実感しております。

基本として「公務最優先」、「報告、連絡、相談(ほうれんそう)」の励行を力説されました。そして、府歯役員当時いただいた二冊の書物、林千冬著「歯科医師会会員読本」からは役員としての基本的な心得を、サムエル・ウルマンの「青春の詩」からは「常に前向きに挑戦せよ」との人生訓を学ばせていただきました。

私は今、測り知れない大きな衝撃を受けてはおりますが、これからは、先生が残された数々の貴重な遺産を糧として執行部一丸となつて支部発展のために引き続き全力を傾注する覚悟を決めております。

先生、どうぞ安らかに眠りください。合掌

.....

『父を語る』

第14班 奥野 夏樹

父を語るとき、諸先生方には、会務を通じての面を、思い出していただけたと思います。北区歯科医師会を愛し、会員の先生方と、協力し、仲良くしていかねければならない、と言うのが口癖でした。信条としては、「恐れるな、焦るな、怒るな」でした。そばで見えますと、すべてを書いて、整理し、ファイルしていま



した。会務に関するものは勿論、新聞の料理欄のようなものも、スクラップしていましたが、自分で作るわけでもないのに。家の中は、資料が多すぎて、収拾がつかないほどでした。外に出るときは、鞆は持たず、上着のポケットに、すべての資料をつっこみ、眼鏡を忘れても、書類を忘れることはありません。趣味は、本を読むことでした。家にいるときは、いつも読んでいました。ジャンルは広く、絶版になるのを恐れて、手当たり次第に注文していました。また、食べることにには頓着しない方で、家庭では、母に、大好物の薄いビフかつをつくってもらったり、お茶漬けを食べるのが好きでした。少し変わったところとしては、血液型がA型であるのに、O型だと言っていたことです。血液型による性格判断に、なにか思う処があったみたいです。私から見た父は、近寄りたいたいと言つのが本心でした。小さいときから、会務で、いつも家にいなく、何処か



へ連れて行ってもらったことがなかったせいだと思います。母も、叙勲の時以外、一緒に旅行したことはないと思います。歯科医師会に出てからは、忙しくて、親子の会話もほとんどない状態でした。人に迷惑をかけることを嫌い、私が免許を取ったときに、事故を起こすことを恐れ、車を手放しました。卒業して、自分で車を手に入れるまでは許可がでませんでした。祖母によると、小学校の頃は、気が弱かった様で、これではいかんと、自分から努力して性格を変えた様です。陸軍中野学校を出て、戦争で一度死を覚悟し、生を頂いた、先年病を得て回復し、今回病床について、三度死に直面して、「生きていくことは、素晴らしいことだ」と言ったのは、心の底から



思っていたのだと思います。会務に一所懸命になったのは、先に行つた人たちの分まで生きようとした証ではないかと思ひます。諸先生方の生前のご厚情に、改めて感謝致します。最後に、私どもにも生前の父同様の、ご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。(写真は在りし日のお姿です)

奥野喜一先生 大阪府歯・大歯大・大歯大同窓会 合同葬のお知らせ

日時 平成14年8月31日(土)
午後3時

場所 本願寺津村別院(北御堂)
大阪市中央区本町四-1-3
電話〇六(六二六)六七九六



去る6月4日、管南幼稚園の歯みがき講習会が今年も行われました。
まず園児全員に衛生士か

管南幼稚園歯みがき講習会

H14 6.4

ら、虫歯のお話と歯みがきの方法のレクチャーをしてもらいました。その後、保護者の方の意識向上を目的に、保護者自身の歯垢の染色を行ない、自身のブラッシングを再確認してもらいました。最後に保護者の方に校医の中谷先生より生活習慣病としてのう蝕のお話をしていただきました。

(地域医療部)

説 論

もっとアピールを

副会長 中谷 勝

の勲五等雙光旭日章受章という明るいニュースもあり悲喜こもごもの年となった。さて、丁度百年前は、日英同盟成立の年で、世は日露戦争前夜の閉塞感が漂っていたらしい。同様に今世

黒川執行部の三期目も、昨年は法人設立二十周年記念事業を終える等、順調に会務執行をさせていただいている。今年は、当会顧問の奥野喜一先生がご逝去され支部内に大きな衝撃が走り、一方では井上敏治先生

紀の初頭、世界も日本も歯科界も閉塞感が漂っている。この様な中、府歯には、か初・再診の取り扱いを始め、指導力を発揮して、中央でも物を申して頂いていることに感謝したい。
今後として、この閉塞感

府歯役員と支部役員との懇談会

H14 6.11



東急ホテルにて開催された。懇談会は開会に先立ち出席者一同が故奥野喜一名誉会長への黙祷を捧げた後、黒川支部長が開会の挨拶、岡



会長の挨拶が行われ、続いて政府が先般閣議決定した『規制改革3カ年計画』の中で医療に関する情報開示・公開、広告規制の緩和、保険者によるレセプト審査・



支払い等が謳われているが、今後どのような展開を見せるかという質問に対する回答を太田専務理事から詳細になされた。その後、岡会長による今回の診療報酬改定についての解説があり、大西副支部長による閉会の挨拶で有意義なうちに懇談会は終了した。



【大阪府歯科医師会】

会 長	岡 邦恭殿
副 会 長	高松 平人殿
専 務 理 事	太田 謙司殿
常 務 理 事	近森 信人殿
理 事	竹村 正仁殿
理 事	川野 敏樹殿
理 事	松下 繁殿
連 盟 理 事 長	大塚 俊裕殿
国 保 副 理 事 長	鵜飼 大策殿
事 務 局 長	英 三谷 卓殿
	邦雄殿

【北区北支部】

支 部 長	黒川 森夫
副 支 部 長	大西 馨
副 支 部 長	橋本 收
専 務 理 事	中谷 勝
常 務 理 事 (総務)	東郷 達夫
常 務 理 事 (会計)	大塚 俊裕
常 務 理 事 (医療管理)	安田 忠敬
常 務 理 事 (医療保険)	奥野 夏樹
理 事 (庶務)	森田 耕造
理 事 (会計)	金田 龍洙
理 事 (地域医療)	大浦 寿哉
理 事 (地域医療)	宮崎 哲
理 事 (地域医療)	木下 秀人
理 事 (地域医療)	谷口 浩康
理 事 (地域医療)	中川 晴彦
理 事 (地域医療)	田中 康隆
理 事 (地域医療)	守下 雅美
監 事 (広報)	三浦 康宏
連 盟 支 部 長	水沼 和夫



医療保険講習会

H14 5.28



さる5月28日梅田新阪急ビルスカイルームにおいて開かれた北歯総会終了後、大阪府歯科医師会常務理事近森信人先生を講師にお招きして医療保険説明会が催



された。史上初のマイナス改定をはじめ、新しい内容も多く150人が詰め掛けた会場は熱気に包まれた。近森先生には、かかりつけ初診と歯周治療のメンテナンスをメインに老人保険、訪問診療、投薬処方時の留意点等々複雑多岐にわたる改定点を解り易く丁寧に解説いただいた。(医療保険部)

医療保険ゼミナール

H14
5.14

5月14日午後7時より北区歯科医師会事務所に於て国保審査委員の橋本收先生に出席頂き、平成14年度第一回医療保険ゼミナールが開催されました。参加人数は約30名でした。

結果として、多くの疑問点は解消されたが、数項目は後日開催される講習会の事前質問として積み残しとなりました。

(医療保険部)

今年4月の点数改定では歯周疾患のメインテナンスに係る総合評価が新設されるなど、難解な点も多く、会員からも質問が殺到している状況から、今年度のゼミナールは早期に開催し、各会員の疑問に取り組むため企画されました。また、5月28日の総会後に開催される医療保険講習会に対し、事前質問を募る目的もありました。



麻雀同好会

H14
2.15

平成十四年二月十五日に、大阪駅前第4ビル一階「寿」において、麻雀同好会が開催されました。八名の出席で下記の成績の通り、清原先生が勝利を手にしました。

今回は向井先生、天羽先生、眞鍋先生の3名が初参加でした。

【成績】

優勝	清原秀三	10	9	0
2位	木下秀人	10	8	2
3位	多田義隆	10	1	6
4位	天羽隆	10	9	3
5位	眞鍋忠雄	10	1	3
6位	向井秀郁	10	2	0
7位	藤田弘	10	7	8
8位	中村敬三	10	8	6

(敬称略)

北歯ゴルフ同好会春季ゴルフコンペ

H14
4.7

平成14年4月7日(日)に田中康隆先生のご紹介でアートルイクゴルフクラブに於て14年度第1回コンペが持たれた。

前日から降っていた雨も止み、桜も見頃で全員楽しくプレーする事が出来たと思われる。

成績の方は実質の上位2人が優勝の権利がなく3位の三宅貴先生が繰り上げ優勝となった。

優勝スピーチで三宅先生は「この日の為、直前にこのコースをラウンドし、ウッドを使わずアイアンだけ



でプレーした方が良いと思います。そうした結果優勝出来ました。本当に有難うございました」と述べられた。次回は11月4日(月)の祭日に西宮高原ゴルフクラブにて開催予定です。



13年度 北歯ゴルフ同好会 春季ゴルフコンペ成績

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HCP	NET	次回HCP
優勝	三宅 貴	45	45	90	18	72	14
2位	安田 次代 (非会員)	41	45	86	17	69	12
3位	佐々木 裕 (初参加)	42	38	80	9	71	7
4位	奥 雅弘	43	42	85	11	74	
5位	安田 忠敬	44	45	89	12	77	
6位	石田 豪	50	53	103	25	78	
7位	田中 康隆	42	46	88	9	79	
8位	黒川 森夫	54	54	108	28	80	
9位	水沼 和夫	53	57	110	30	80	
10位	宮内 修平	59	52	111	30	81	
11位	渡辺 道雄	42	50	92	10	82	
12位	長谷川 泰彦	44	49	93	9	84	
13位	福西 一浩	59	55	114	30	84	
14位	大塚 俊裕	47	48	95	10	85	
15位	橋本 收	51	46	97	11	86	
16位	野口 秀夫	46	53	99	12	87	
17位	安田 清子	62	63	125	38	87	
18位	高麗 誠記	56	52	108	15	93	

ベスト	佐々木
ロング	大塚 宮内
ドライバー	渡辺 大塚② 安田(次)
ノーバンカー	安田(清) 安田(次)
ドラチョン	安田(清) 黒川
大小並	宮内 奥 黒川 三宅

編集後記

猛暑の中、「ほくし」の発行ができました。7月中の発行予定でしたが、紙面構成で少し遅れました。

今号の第二面は、北歯顧問でもあり、歯科界の重鎮であった奥野喜一先生への弔意を持つて作成しました。会長の弔慰文中に、これからの北歯の姿が示されています。御一読下さい。

お詫び

先号157号「みおつくしの会」の記事中ご出席の先生で大塚礼三先生の御名前が洩れていました。深くお詫び申し上げます。

井上敏治先生叙勲
記念祝賀会のお知らせ

日時

平成14年8月6日(火)

午後6時

(午後5時半・受付開始)

会費

2万円

場所

リーガロイヤルホテル2階

『山楽の間』

北区中之島五三三六八

電話(〇六)六四四八三三